

令和4年度

**摂津市の教育に関する
事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書**

摂津市教育委員会

目次

1	はじめに	P1
2	教育委員会について	P2
	(1) 教育委員会の構成	P2
	(2) 教育委員の活動状況	P2
3	点検評価報告書の位置づけ	P3
4	点検評価について	P4
	(1) 点検評価の方法	P4
	(2) 施策一覧	P5
	(3) 点検評価報告書の見方	P6
5	具体的な取組	
	目標 1. 豊かな心を育む教育	P8
	目標 2. 確かな学力を育む教育	P13
	目標 3. 健やかな体を育む教育	P23
	目標 4. 社会を生き抜く力を育む教育	P27
	目標 5. とともに学び育つ教育	P33
	目標 6. 学びを続ける機会づくり	P41
	目標 7. 学びを支える環境づくり	P45
	目標 8. 学びを活かす人づくり	P51
	目標 9. 安全安心で快適な教育環境づくり	P55
	目標 10. 地域全体で教育に取り組む体制づくり	P63
	[参考] 摂津市が配置等している支援人材一覧	P68

1. はじめに

中央教育審議会答申（令和3年1月）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では、社会の在り方が劇的に変化する「society5.0」時代の到来や、新型コロナウイルス感染症等の先行き不透明な予測困難な時代を迎えるなか、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる資質・能力」の育成が求められ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が必要とされています。

本市においても、学校教育における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のため、児童生徒の個性や習熟度に応じてICTを活用した学習方法の工夫などの授業改善を進めるとともに、「中学校職種体験プログラム」に代表される、地域、企業の方々との交流を通じたキャリア教育の推進に取り組んでいます。また、文部科学省が12年ぶりに改訂を行った生徒指導提要では、「させる生徒指導」から「支える生徒指導」への転換が示されました。本市においても、問題の解決を図る指導だけでなく、「魅力ある学校づくり」の取組をはじめとする、声かけ、励まし、称賛などの対話を通じて児童生徒の成長を教職員が支える指導を行うことで、暴力行為等問題行動等の未然防止に取り組んでいます。

今後は、教員の資質・指導力向上や、学校のみならず関係機関や企業等との連携による子どもの居場所づくりに取り組むとともに、特別支援教育を受ける児童生徒や外国籍の児童生徒、いじめの重大事態や不登校児童生徒の増加などに対応するため、個に応じた細やかな指導及び支援の更なる充実を目指します。

生涯学習においては、令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響のため、事業の中止や規模縮小を余儀なくされ、市民の生涯学習活動が制限されましたが、その一方で、電子図書館の導入、市立公民館及び図書館におけるICT環境を整備するなど、時と場所を選ばず、誰もが自由に学習できる機会の充実を図りました。

今後は、デジタルトランスフォーメーション（DX）^{*}の進展への対応やポストコロナ社会での学びの機会の提供を継続するとともに、さらなる生涯学習の推進のため、人生100年時代に対応した学び直しや学びを通じた人々と地域とのつながりづくり等に取り組んでまいります。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、教育に関する学識経験者からのご意見をいただきながら作成したものです。この結果をふまえ、今後もより良い摂津市の教育が実現するよう更なる取組を進めます。

^{*}デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation DX）：将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

2. 教育委員会について

(1) 教育委員会の構成（令和4年度）

職名	氏名	最初の就任日 (任期満了日)
教育長	ハシ オ ダニ トモヤ 箸尾谷 知也	平成25年4月1日 令和6年9月30日
教育長職務代理者	フクモト ミノル 福元 実	平成24年4月1日 令和7年3月31日
委員	オオヤ ユウコ 大矢 優子	平成20年3月8日 令和8年3月31日
委員	サカイ トモコ 坂井 知子	令和2年4月1日 令和6年3月31日
委員	フジムラ ユウジ 藤村 裕爾	令和2年12月24日 令和9年3月31日

教育長の任期は3年間、教育委員の任期は4年間

(2) 教育委員会の活動状況

①教育委員会会議

令和4年度は定例会を12回開催しました。会議では、教育委員会規則の制定・改廃、教科書の採択等について審議しました。また、教育委員会の事務に関する予算への意見の申出、学校における問題行動への対応や各種学力調査・体力調査の結果に対する助言など教育に関する事案について議論しました。

②教育委員会による学校園の訪問等

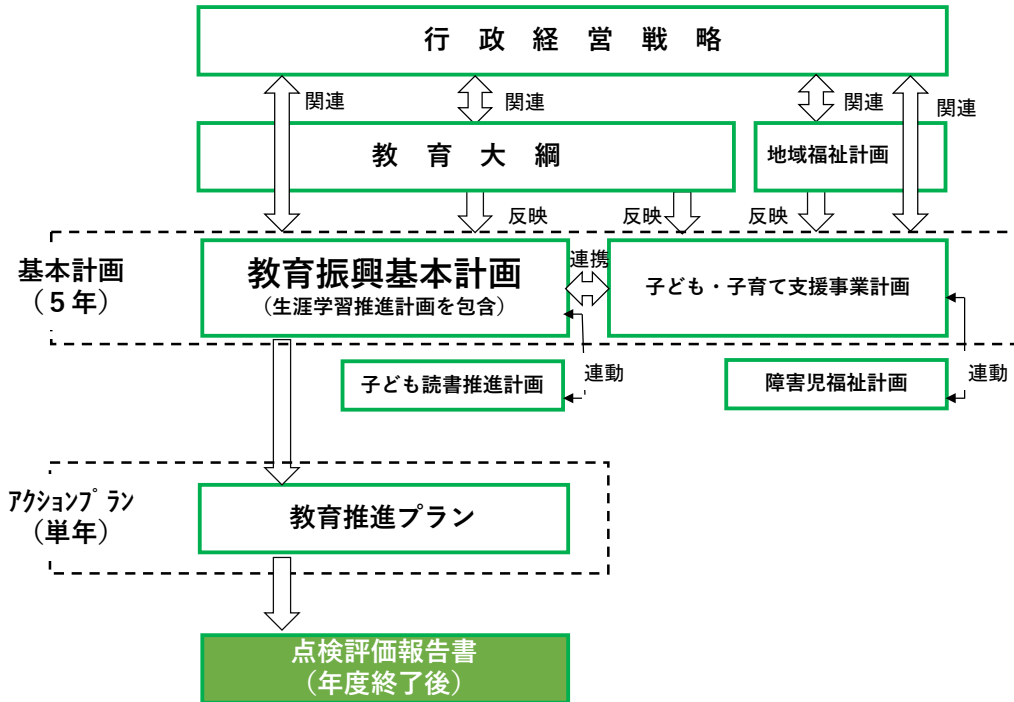
学校園の現状や取組を把握するため、教育長及び教育委員が小中学校を訪問し、学校管理職や担当教員と意見交換を行いました。また学校園の学校経営にかかるヒアリングを行い、学校経営改善に向けた助言を行いました。

③行事等への出席

教育委員会主催行事のみならず、学校や団体の行事等にも積極的に参加して参りましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事等の出席は最小限に留めました。

3. 点検評価報告書の位置付け

摂津市行政経営戦略*の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして教育推進プランを位置づけています。本報告書は、教育推進プランに基づき、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行います。



※摂津市行政経営戦略

「摂津市総合計画」と「摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一本化し、市の分野の方向性・取組・目標を示した令和3年度から令和7年度までの5カ年計画

4. 点検評価について

(1) 点検評価の方法

点検評価にあたり、千里金蘭大学 教育学部教育学科教授学部長 島善信氏と大阪つくば開成高等学校校長 白井孝雄氏からご意見をいただき、報告書に反映しています。

施策及び事業の進捗は、基本目標ごとに設定した成果指標と事業ごとに設定した目標指標の達成状況で確認します。なお、事業（取組）は目標指標の達成状況及び取組により、下記の基準で評価します。

事業の評価方法

評価	基準
A	指標以上 ・指標を達成できたまたは上回った場合 ・指標達成と同等の成果を得られた場合
B	概ね指標通り ・指標を概ね達成できた場合 (複数ある指標のうち一部を達成できた場合等) ・指標に到達していないが、指標達成に向けて順調に(計画的に、年々改善されている等)取組が進められている。
C	指標に達しなかった ・指標を達成できなかった場合 ・課題があり、指標達成に向けて順調に取組が進められていない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止や規模の縮小等を余儀なくされた事業は、代替事業の実施や感染症対策を講じた取組等をふまえて総合的に評価しています。

(2) 施策一覧

(★は重点事業*含む施策)

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	ページ
つながり 未来を拓く せつつの教育	1. 一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	1 豊かな心を育む教育	① 道徳教育の推進		9
			② 人権教育の推進		9-10
			③ 読書活動の推進		11
		2 確かな学力を育む教育	④ 授業改善の推進	★	14-19
			⑤ 学習内容・学習習慣の定着		19-20
			⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進		21
		3 健やかな体を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着		24-25
			⑧ 学校体育・部活動の推進		25-26
		4 社会を生き抜く力を育む教育	⑨ 新たな教育の推進	★	28-32
		5 とともに学びに育つ教育	⑩ 支援教育の推進	★	34-35
	⑪ 相談体制の充実			36-37	
	⑫ 生徒指導の充実		★	38-40	
	2. 人生100年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	6 学びを続ける機会づくり	⑬ 多様な学習機会の充実		42-44
		7 学びを支える環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		46-47
			⑮ 社会教育施設の活用	★	48-50
	8 学びを活かす人づくり	⑯ 多様な主体による指導者の育成		52-53	
	3. 安全で安心な学びの場をつくり ます ～教育環境の整備～	9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑰ 教育施設の整備	★	56-59
			⑱ 感染症の予防・対策		59-60
			⑲ 学校給食の安全衛生管理	★	61-62
		10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑳ 学校・家庭・地域の連携強化		64-65
			㉑ 子どもの安全見守り活動の充実		66-67

※重点事業（施策推進にあたり、令和4年度に重点的に取り組む事業【新規事業や拡充事業等】）

(3) 点検評価報告書の見方

基本目標 2 確かな学力を育む教育

基本目標 2 確かな学力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6)0.97 (中3)0.95	(小6) 0.99 (中3) 0.91	(小6) 1 (中3) 1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ¹⁾ （小6・中3平均）	72.3%	75.8%	73.5%

¹⁾ 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

摂津市教育振興基本計画に掲げる指標を記載しています。
「R4 実績値」には、指標に対する令和4年度の実績値を記載しています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
④ 授業改善の推進	学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業【重点】 ・小中学校教育用コンピューター事業【重点】 ・学校マネジメント支援事業 ・研修事業 ・学校教育相談員配置事業
⑤ 学習内容・学習習慣の定着	授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校マネジメント支援事業 ・学力向上推進事業
⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進	<p>子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。</p> <p>義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育推進事業 ・キャリア教育推進事業

摂津市教育振興基本計画に掲げる施策と内容、施策に関連する事業（取組）を記載しています。

事業（取組）ごとに令和4年度の取組実績、今後の取組等を記載しています。
新規事業や拡充事業等は事業名の後ろに【重点事業】と標記しています。

④授業改善の推進

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	24,446千円（6,235千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	23,677千円（5,698千円）

指標	R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①意識調査 ^{※1} （3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合	47.6%	46.4%	B
②各校・各教科における摂津市学力定着度調査並びに府中学生チャレンジテストの結果が前年度に比べて向上した学年数の割合	(小) 74% (中) 40%	(小) 40% (中) 47%	
③全国学力・学習状況調査の平均無回答率の対全国比	(小) 1.50 (中) 1.30	(小) 0.96 (中) 1.36	

取組実績
・全国学力・学習状況調査、摂津市学力定着度調査及び中学校チャレンジテスト等の結果に基づき、各校での児童生徒の学力課題に応じた授業改善を推進するため、校内研修や学校間の相互授業参観等の取組を支援した。[写真1]

教育推進プランで設定した指標に対する実績値及び取組評価を記載しています。

今後の取組
・中学校チャレンジテストでは、1年生国語において府平均を上回り、過去5年間で最も高い結果となった。一方で、数学、英語においては府平均を下回る結果となった。意欲の向上する言語活動や探究活動を授業に取り入れるなど、学校における児童生徒の学習意欲向上に向けた組織的な授業改善の取組を支援する。[グラフ1・2]

基本目標 1 豊かな心を育む教育

基本目標 1 豊かな心を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	72.0%	74.6%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	70.0%	92.3%	72.9%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
① 道徳教育の推進	答えが一つではない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。	・道徳教育の充実
② 人権教育の推進	女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。	・人権教育推進事業 ・国際理解教育推進事業 ・日本語指導教育事業
③ 読書活動の推進	読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。	・小中学校管理運営事業 ・学校読書活動推進事業

基本目標 1 豊かな心を育む教育

① 道徳教育の推進

事業（取組）名	道徳教育の充実	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
道徳教育に関する研修会開催回数		5 回	5 回	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の道徳教育推進教師^{※1}等を対象に「特別の教科道徳」の実践的な授業研究のための研修会を開催した。 ・今後の道徳の授業改善につなげるため、研修後に実施したアンケートにおいて、「この研修で得たことを、今後の職務に活かすことができるか」の質問項目では96%の肯定的な回答を得ることができた。 ・小中学校が作成する「特別の教科道徳」の年間指導計画や指導実績表等により、各校の道徳教育の実施状況の把握を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の充実のため、引き続き道徳教育推進教師等への研修を実施し、指導力の向上を図る。 			

※1 道徳教育推進教師：指導計画の作成、教材の整備・充実など道徳教育の推進を主に担当する教

② 人権教育の推進

事業（取組）名	人権教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	99 千円（60 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	98 千円（60 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①研修実施回数		3 回	3 回	A
②市教職員アンケート「人権教育の「課題」が教職員間で共有され、解決に向けて指導にあたっていると思いますか」の肯定的回答率		78.0%	84.5%	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校教員を対象に同和教育や日本語指導に関する研修会を開催した。 ・学校間の人権教育の取組を共有する人権教育担当者会を開催した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人権意識及び指導力向上のため、引き続き人権教育に関する教職員研修会及び人権教育担当者会を開催する。 			

基本目標 1 豊かな心を育む教育

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	1,880 千円（1,880 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	1,661 千円（1,661 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
国際理解社会人講師★の派遣時間数		510 時間以上	460 時間	B
取組実績	・市内小中学校に国際理解社会人講師を 14 名派遣し、多文化共生及び国際理解教育に関する授業を実施した。			
今後の取組	・海外から渡日する児童生徒の増加が見込まれることから、多文化共生及び国際理解教育のさらなる推進のため、引き続き国際理解社会人講師を派遣する。			

事業（取組）名	日本語指導教育事業	予算額（取組内容に係る予算額）	7,385 千円（7,385 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	5,601 千円（5,503 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
日本語指導講師★派遣時間数		2000 時間以上	1348 時間	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導講師を 13 名派遣（前年度比+3 人）し、外国語を母語とする児童生徒の日本語及び母語指導等の学習支援を行った。 ・令和 2 年度から年々派遣時間数は増えており、令和 4 年度は前年度比+141 時間であった。 ・日本語指導講師派遣時間外における支援や、保護者の相談対応等にも活用できる AI 翻訳機を 3 台配備し、支援が必要な児童生徒とのコミュニケーションツールとして活用した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き日本語指導講師を派遣し、外国語を母語とする児童生徒の学習保障を支援する。 ・児童生徒やその保護者の通訳支援及び母語での教材や文書の作成支援のため、全小中学校に AI 翻訳機を配備する。 			

★の説明は 68 頁に記載しています。

基本目標 1 豊かな心を育む教育

③読書活動の推進

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	予算額（取組内容に係る予算額）	126,326 千円（8,000 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	77,191 千円（7,994 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
学校図書館図書標準※を達成している学校数		10 校/15 校	10 校/15 校	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 15 校で約 5,300 冊の図書を新規購入するとともに、約 700 冊の寄贈を受けた。 ・状態が劣化した図書を約 1,600 冊廃棄した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新たな図書の購入、状態が劣化した図書の廃棄や更新等を行い、学校図書館整備の充実を図る。 			

※学校図書館図書標準：文部科学省が定める学校図書館が整備すべき蔵書冊数

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	19,270 千円（17,748 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	14,314 千円（13,202 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
「学校の授業時間以外に、一日あたり 10 分以上読書している」と回答した児童の割合【◆】		55%	45.5%	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校に読書活動推進サポーター★等の人材を配置し、学校図書館の蔵書整理、図書啓発のためのポスター等の制作を行った。 ・各校の読書活動推進サポーターが参加する図書担当者会議を年 3 回実施し、各校の好事例を共有及び実践した。 ・学校図書館において、市立図書館（市民図書館）の本の貸出しサービスを試験的に実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の授業時間以外に、一日あたり 10 分以上読書している」と回答した児童の割合が、前年度比 3.8%増加しており、学校読書活動の推進が児童生徒の読書意欲向上に寄与していると考えられる。引き続き、読書活動推進サポーターをはじめとする人材の配置、図書館担当者会議での情報共有等を行う。 ・学校図書館と市立図書館のさらなる相互利用を推進するため、電子図書を活用した児童生徒の読書活動支援の取組を検討する。 			

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 68 頁に記載しています。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6)0.97 (中3)0.95	(小6) 0.99 (中3) 0.91	(小6) 1 (中3) 1
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{〔◆〕} （小6・中3平均）	72.3%	75.8%	73.5%

〔◆〕全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
④ 授業改善の推進	学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業【重点】 ・小中学校教育用コンピューター事業【重点】 ・学校マネジメント支援事業 ・研修事業 ・学校教育相談員配置事業
⑤ 学習内容・学習習慣の定着	授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校マネジメント支援事業 ・学力向上推進事業
⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進	<p>子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。</p> <p>義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで9年間の義務教育を計画的に行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育推進事業 ・キャリア教育推進事業

基本目標2 確かな学力を育む教育

④授業改善の推進

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	24,446千円（6,235千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	23,677千円（5,698千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①意識調査※1（3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合		47.6%	46.4%	B
②各校・各教科における摂津市学力定着度調査並びに府中学生チャレンジテストの結果が前年度に比べて向上した学年数の割合		(小) 74% (中) 40%	(小) 40% (中) 47%	
③全国学力・学習状況調査の平均無回答率の対全国比		(小) 1.50 (中) 1.30	(小) 0.96 (中) 1.36	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、摂津市学力定着度調査及び中学校チャレンジテスト等の結果に基づき、各校での児童生徒の学力課題に応じた授業改善を推進するため、校内研修や学校間の相互授業参観等の取組を支援した。[写真1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査では、小学校算数の対全国比が初めて全国平均を上回った。一方で、理科は全国平均を下回り、課題であると捉えている。 ・中学校チャレンジテストでは、1年生国語において府平均を上回り、過去5年間で最も高い結果となった。一方で、数学、英語においては府平均を下回る結果となった。意欲の向上する言語活動や探究活動を授業に取り入れるなど、学校における児童生徒の学習意欲向上に向けた組織的な授業改善の取組を支援する。[グラフ1・2] ・引き続き、相互授業参観、校内研修等教員の授業力向上に向けた取組を支援する。 ・子どもが家庭でも主体的に学習する習慣を身に付けるために、家庭学習の内容及び方法を見直し、学校の授業と家庭学習が連動した学びを推進する。 			

※1 意識調査：市教育委員会が児童生徒の学習意欲等を把握し、「魅力ある学校づくり」を進めていくために実施するアンケート調査

※2 摂津市学力定着度調査：市教育委員会及び各学校が児童生徒の学習の定着状況を経年変化で把握し、指導に活かすために実施する学力調査（対象：小学1年生から6年生まで）

※3 学年数の計上方法：小学校2年生から6年生の5学年×10校×2教科（国・算）＝100学年、中学校2年生から3年生の2学年×5校×3教科（国・数・英）＝30学年のうち、テストの結果が前年度以上となった学年数の割合を%表示している。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

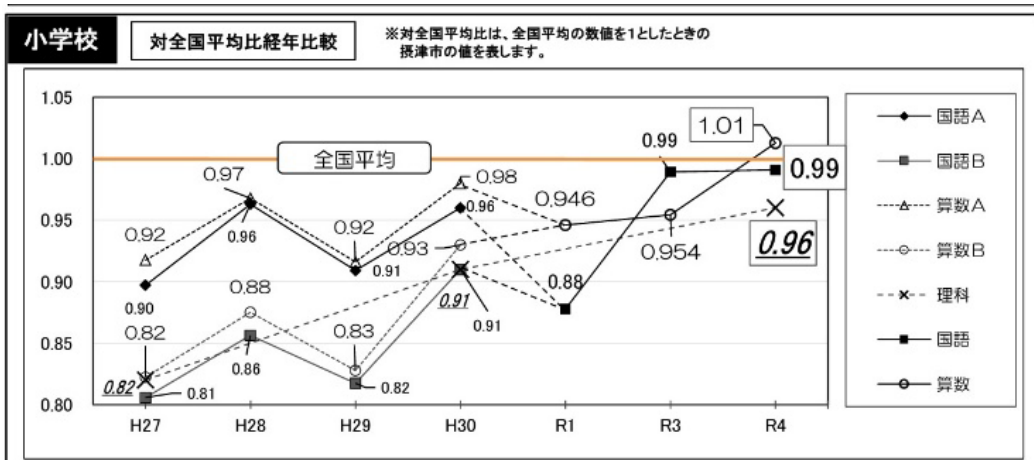
(校内研究の様子)



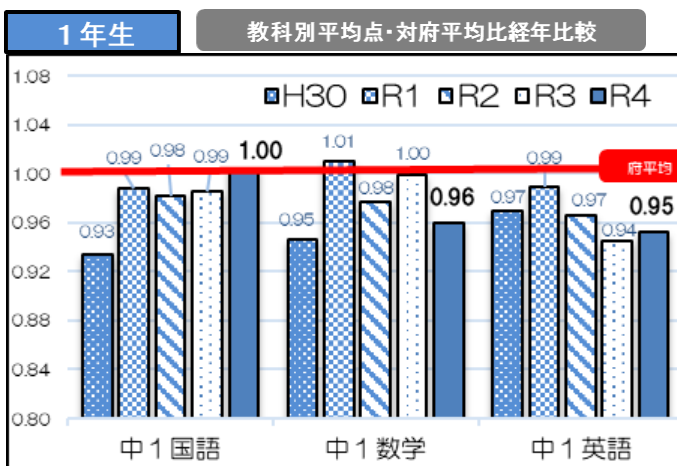
(相互参観)



[グラフ 1] 全国学力・学習状況調査



[グラフ 2] 中学校チャレンジテスト



	国語	数学	英語
本市平均点	58.8	52.8	56.3
大阪府平均点	58.6	55.0	59.1
対府平均比	1.00	0.96	0.95

※対全国比、対府平均比：全国、大阪府平均を1としたときの本市の平均値

基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	小中学校コンピューター事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	176,165千円（176,165千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	175,149千円（175,149千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
「学習の中で ICT 機器を使うのは、勉強の役に立つと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 【◆】（小6・中3平均）[グラフ1]		95%	94.5%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校の特別教室や体育館等に無線 LAN を整備し、音楽や体育などの授業で ICT 機器を活用する環境を構築した。 ・ICT 教育推進リーダー教員※を中心に授業における ICT 活用の先進的事例を各校に周知した。 ・全小中学校にオンライン配信用のタブレット端末を5台配備し、特別な事情で登校できない児童生徒の授業参加を可能とした。[写真1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ICT 支援員★の活用及び各学校の ICT 担当教員を中心に、授業における ICT 機器の活用事例を各学校に発信するとともに効果的な活用の研究を推進する。 			

★の説明は68頁に記載しています。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※ ICT 教育推進リーダー教員：ICT 機器を使用した授業を先進的に取組、各学校の活用事例を他校に広めるために中心となる教員

基本目標 2 確かな学力を育む教育

[グラフ 1]

令和 4 年度 全国学力・学習状況調査質問紙調査における児童生徒質問紙の結果

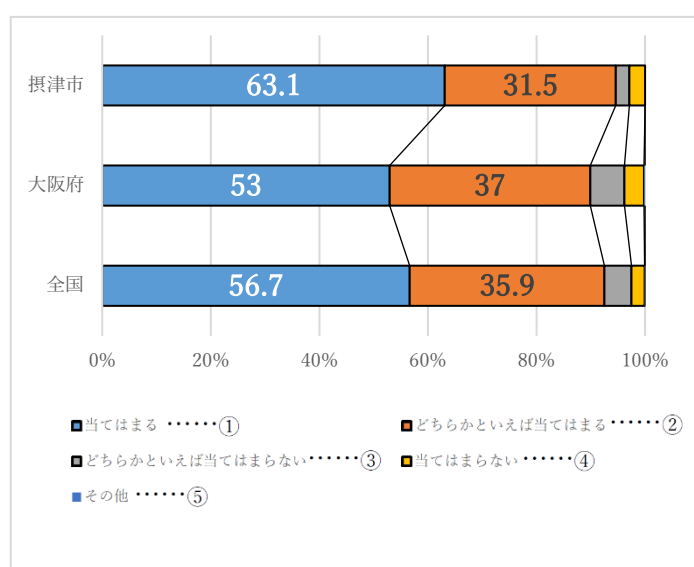
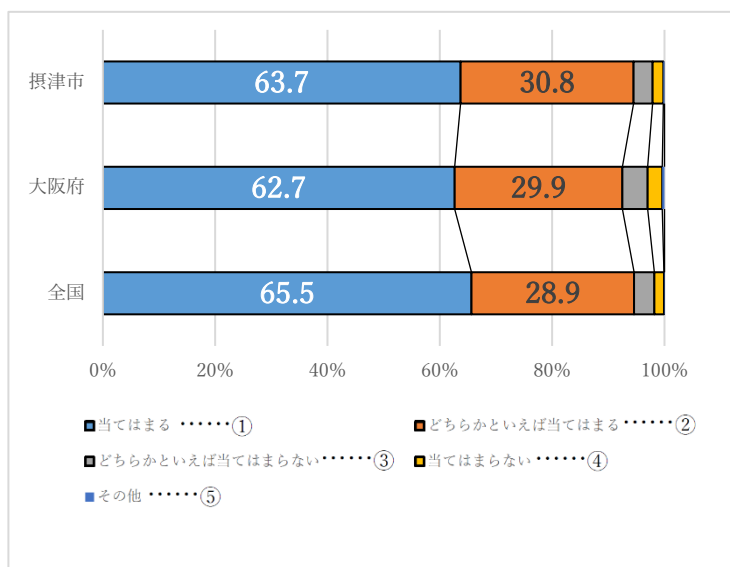
「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

(小学校)

	①	②	③	④	⑤
摂津市	63.7	30.8	3.4	1.9	0.2
大阪府	62.7	29.9	4.5	2.6	0.4
全国	65.5	28.9	3.6	1.7	0.1

(中学校)

	①	②	③	④	⑤
摂津市	63.1	31.5	2.5	2.9	0.0
大阪府	53.0	37.0	6.3	3.6	0.2
全国	56.7	35.9	5.0	2.4	0.1



[写真 1] (オンライン授業の様子)



資料等を書画カメラやPCで、電子黒板やプロジェクターに投影し、その画面をオンラインで配信する。

基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	160,713千円（7,200千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	138,939千円（7,200千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
意識調査（3月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合		51.3%	59.8%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・5小中学校（千里丘小学校、味生小学校、別府小学校、鳥飼西小学校、第三中学校）を研究重点校と位置付け、研究計画の策定から研究授業・研究協議の実施を支援した。また、研究重点校の取組をまとめたパンフレットを作成し、重点校以外の学校での取組普及に活用した。 ・市内全小中学校で研究発表会を実施する際の指導・助言、講師派遣等の支援を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が主体的及び協働的に授業改善に取り組むことができるように、定期的な授業参観の実施、他市町村の授業改善の取組を視察する機会の提供及び管理職や学力向上担当教員への指導助言を行う。 			

事業（取組）名	研修事業	予算額（取組内容に係る予算額）	741千円（741千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	567千円（567千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
教職員研修参加者へのアンケート「研修の内容を学校の取組みに生かす」への肯定的回答の割合		97.0%	97.0%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業づくり、学級経営及び幼保小連携をテーマにサマーセミナーを開催した。 ・「特別支援教育」をテーマとした小中学校全体研修会を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員のニーズや、学校現場の課題に応じた研修を実施する。 			

基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	予算額（取組内容に係る予算額）	9,107千円(9,107千円)	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	8,432千円(8,432千円)	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
初任者研修における自己評価*の合計ポイントの上昇幅の平均		20.0ポイント	25.0ポイント	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営サポーター*を配置し、校長及び教頭の学校運営を支援した。 ・学校教育相談員*を配置し、経験の浅い教職員が多く配属されている学校を中心に授業づくりや学級経営に関する指導助言を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校教育相談員等の支援人材を派遣し、経験の浅い教職員の資質向上を図るための指導助言を行う。 			

※初任者研修における自己評価：初任者研修前後に「授業・教科の指導力」、「集団作りに取り組む力」等の5項目の観点(1項目24点満点)を振り返り、合計120点満点として自己評価を行う。

⑤学習内容・学習習慣の定着

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算額）	160,713千円（12,400千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	138,939千円（13,185千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
学習サポーター*派遣校数		15校/15校	15校/15校	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校に学習サポーターを延べ105名派遣し、児童生徒の一人ひとりの課題に応じて学習活動を支援した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学習の充実のため、引き続き学習サポーターを全小中学校に派遣する。 			

*の説明は68頁に記載しています。

基本目標2 確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学力向上推進事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算額）	24,446千円（17,026千円）		
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	23,667千円（17,023千円）		
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価	
①受講生の学力の向上（5月現状値を1.0とする*） ※塾内全体の理解度確認テスト平均正答率との比較		小6・中1・ 2・3の全学 年1.05以上	小6 1.09 中1 1.04 中2 1 中3 1.04	A	
②平日及び休日に1時間以上学習する児童生徒の割合の増加（5月現状値を1.0とする）		平日・休日 ともに 1.20以上	平日 1.26 休日 1.69		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6会場で年間60回「摂津SUNSUN塾」を開催し、市内小中学生（小6、中1、中2、中3）187名が受講した。 ・映像授業サービス「Try IT」*を市内全中学生に提供し、自学が困難な児童生徒の家庭学習を支援した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「摂津SUNSUN塾」を開催し、受講生の個別最適な学びの充実及び家庭学習の定着に向けて支援する。 ・小6、中1、中2において学力の向上が見られた。引き続き受講生のさらなる学力の向上に向けて、通塾生が使用する共通ドリルに加え、タブレットを用いた映像授業等を組み合わせることで、より弱点を克服できる個別最適な学習を実現できるよう指導及び周知に取り組む。 				

*例年5月に実施している摂津SUNSUN塾の学力調査テストとアンケートの初回を6月に実施したため、初回（令和4年6月）と最終回（令和5年2月）の結果を比較する。

※トライが提供する中学生高校生向けの無料映像学習サービス。教科・単元ごとに1個15分の授業を選んで視聴することができるため、空き時間に苦手を解決することができる。

基本目標 2 確かな学力を育む教育

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

事業（取組）名	就学前教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	300 千円（300 千円）	
担当課	こども教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	845 千円（845 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①研修アンケートにおける『今後の職務に活かすことができる』と回答した割合		①90%以上	①98.8%	A
②就学前教育実践の手引きの改訂		②冊子の完成	②冊子の完成	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前施設職員と小学校教員等を対象に、「保幼小の連携及び接続期の教育・保育」、「幼児期から低学年の運動遊びについて」等をテーマとした保幼小合同研修会を実施した。 ・「就学前教育実践の手引き（平成 23 年度策定）」を、「保幼小」連携や接続期の教育・保育及び本市の子どもたちの運動能力の向上等に重点を置いた「就学前教育・保育実践の手引き」として令和 5 年 3 月に改訂した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる「保幼小」の連携のため、就学前施設職員及び小学校教員等を対象に「就学前教育・保育実践の手引き」を活用した研修会を実施するとともに、新たに小中学校区等での意見交換会を実施する。 ・次年度以降の更なる「保幼小」の連携充実に向け、各学校園等の施設長や連携事業に参加した職員等を対象に、取組に関するアンケートを実施する。 			

事業（取組）名	キャリア教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	2,093 千円（164 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	1,912 千円（164 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
中学校区で実施した小中連携に関する協議会※1及びキャリア教育推進委員会※2の回数		75 回	83 回	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区の夏期合同研修を中心に、生徒指導や支援教育、教科指導の工夫等の取組みを交流し、各学校が自校に活かせる機会を支援した。 ・キャリア教育推進委員会の中で、各中学校区の小中学校がめざす子ども像や中学校区で連携した教育活動について協議を促し、小中連携を推進した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、義務教育 9 年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向けて、中学校区で連携した教育活動を支援する。 			

※1 小中連携に関する協議会：小中一貫教育の推進のため、各中学校区で毎月 1 回開催している担当者会議、夏期合同研修会などにおいて、各校の教員が交流し、情報共有を

基本目標 2 確かな学力を育む教育

行うことを指す。

- ※2 キャリア教育推進委員会：義務教育9年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、小中学校のキャリア教育を推進する NPO 法人、学校、市教育委員会事務局の代表により構成された委員会

基本目標 3 健やかな体を育む教育

基本目標 3 健やかな体を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査*の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】(小5・中2平均・男女別)	(男) 0.97 (女) 0.96	(男) 0.96 (女) 0.96	(男) 1 (女) 1
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合(小5・中2平均・男女別)	(男) 66.5% (女) 48.2%	(男) 61.4% (女) 48.5%	(男) 69.5% (女) 51.2%

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査。

小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動調査等の質問紙調査を実施している。

施策及び事業(取組)

施策	内容	事業(取組)
⑦ 運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着	運動意欲、体力の向上には、子どもたちの運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感じることが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進 ・小中学校給食事業
⑧ 学校体育・部活動の推進	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・運動能力、運動習慣等調査 ・学校部活動等助成事業

基本目標 3 健やかな体を育む教育

⑦運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着

事業（取組）名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課・教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2 平均・男女別）		(男)66.5% (女)48.2%	(男)61.4% (女)48.5%	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の体育担当教員を対象に、全国体力・運動能力運動習慣等調査の実施方法に関する研修を実施した。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握や分析を行った。 ・教育センター職員による巡回を通じて、児童生徒の運動意欲の興味関心及び体力向上に向けた取組について体育担当教員に指導・助言を行った。 ・小中学校に対して、食に関する取組状況を確認した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が依然として全国平均を下回っている。学校全体で運動に親しむ雰囲気醸成するとともに、児童生徒の自発的な運動を促す取組が必要である。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査の分析結果をもとに、担当者会を行い授業改善や児童生徒の運動機会の確保に向けた取組を各校で実施する。 ・引き続き指導主事による巡回を通じて、児童生徒の運動意欲の興味関心及び体力向上に向けた取組について助言を行う。 ・地域の農家との関わる機会を設けるなど、自分たちの地域の食文化の理解を促進する活動に取り組む。 			

基本目標3 健やかな体を育む教育

事業（取組）名	小中学校給食事業	予算額（取組内容に係る予算額）	460,205 千円（—）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	443,599 千円（—）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①えいようだより及び中学校給食通信の発行回数		24 回	24 回	A
②小中学校共通テーマ及び食材を使用したメニューの提供回数		3 回	3 回	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・えいようだより及び中学校給食通信を定期的に発行し、児童生徒や保護者に給食に関する情報を提供した。 ・小中学校で減塩を共通テーマに、うま味を活かせるだしや、味のアクセントとなる酢を活用した給食を3回提供した。 ・児童が自ら育てた野菜を給食で使用し、食の大切さや魅力を伝えた。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成できるよう、えいようだよりや学校給食通信の発行を定期的に実施する。 ・令和5年度も減塩を共通テーマに給食を提供することで、児童生徒へ適切な塩分量での食生活の意識付けを図る。 			

⑧学校体育・部活動の推進

事業（取組）名	全国運動能力、運動習慣等調査	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
体力合計点の府平均以上校数		8 校/15 校	6 校/15 校	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握し、その分析結果を基に各学校での体力づくり推進計画（アクションプラン）の作成を支援した。 ・体育担当者会の実施や、教育センター職員の巡回を通じて各校へ体育の授業力向上のための指導助言を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力調査結果では、大阪府平均以上の学校数が前年度比3校増であった。一方で質問紙調査「体育（保健体育）の授業が楽しい」と肯定的回答をする児童生徒の割合が全国平均を下回っている。児童生徒が成功体験の積み重ねができるような授業づくりの推進が必要である。 ・中学校教員が小学校体育の授業に助言をするなど、小中が連携して子どもたちの体力向上に向けた授業改善の取組を推進する。 			

基本目標 3 健やかな体を育む教育

事業（取組）名	学校部活動等助成事業	予算額（取組内容に係る予算額）	4,810 千円（2,599 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	3,484 千円（1,657 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
学校の希望した部活動へ部活動指導員★を派遣した割合		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育相談員★による部活動顧問への巡回指導を 12 回実施した。 ・市内 5 中学校 6 種類の部活動に部活動指導員 6 名を派遣した。 ・関係課と連携し、部活動地域移行に向けた準備委員会を立ち上げた。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な部活動運営の支援及び拠点校方式による部活動運営の実態把握のため、引き続き学校教育相談員による部活動顧問への指導・助言等の巡回指導を実施する。 ・専門的な指導による生徒の技術力向上及び心身の健全な成長のため、引き続き部活動指導員を派遣する。 ・部活動地域移行に向けて関係課と連携し、学校の意向調査等を行う。 			

★の説明は 68 頁に記載しています。

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} (小6・中3平均)	72.2%	70%	74.7%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑨ 新たな教育の推進	子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を發揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育推進事業【重点】 ・キャリア教育推進事業(再掲)【重点】 ・防災教育の推進 ・小中学校教育用コンピューター事業

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

⑨新たな教育の推進

事業（取組）名	英語教育推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	27,281 千円（27,281 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	26,231 千円（26,231 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合		90.0%	82.4%	C
②英語が CEFR A1 ^{※1} 相当（英検 3 級）以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する 3 年生）		50.0%	48.2%	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動支援員★を 1 名派遣し、小学校教員の授業づくりに対する助言及び支援を行った。 ・外国人英語指導助手（ALT）★を派遣し、全小学校で「English Day^{※2}」を開催するとともに、教育センターで「English Week^{※3}」を開催した。[写真 1] ・小中学校でインターネットを介してオーストラリアバンダバーグ市の同世代の子どもと交流した。[写真 2] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き外国語活動支援員や ALT を各校に派遣し、外国語活動の授業を充実させるとともに、子どもたちに目的・場面・状況に応じた実践的な英語の活用力を身に着けさせる。 ・小学校専科指導加配教員と中学校の英語コーディネーターが連携し、小中一貫した外国語活動及び外国語活動の充実を推進する。 ・引き続き、インターネット等を活用して海外の同世代の子どもとの交流を実施する。 			

※1 CEFR：語学のコミュニケーション能力別レベルを示す国際標準規格。CEFR A1 は実用英語検定 3 級と同程度のレベル

※2 English Day：小学生を対象とした ALT によるゲーム等を通じた英語によるコミュニケーション力や昼休みの放送を活用したリスニング力向上の取組

※3 English Week：中学生を対象とした ALT による英会話レッスン（英会話集中講座等）

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

CEFR A1 相当以上の英語力保持者(中学3年生)の割合(%)

	R1	R2	R3	R4
市平均	43.1	47.7	50.1	48.2
府平均	46.9	45.9	47.4	49.1
国平均	42.6	44.0	47.0	49.2

[写真1] (「English Day」の様子)



(「English Week」の様子)



[写真2] (バンダバーグ市との国際交流の様子)



基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育推進事業（再掲）【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	2,093 千円（164 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	1,912 千円（164 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
「将来の夢や目標を持っている」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）		70%	71%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進委員会^{※1}を8回開催し、文部科学省調査官からの「キャリア教育の学習指導要領との繋がりや本質」についての指導助言を基に、本市のキャリア教育の取組を見直すとともに、義務教育9年間を見据えた「めざす子ども像」の協議を行った。 ・キャリア教育プログラムである中学校職種体験プログラムの伴走支援を行い、各中学校と企業の連絡調整やアンケートを分析した。[グラフ1] ・児童生徒を対象としたキャリア教育に関するアンケート調査の実施及び結果分析を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、キャリア教育推進委員会を開催し、教育活動全体でキャリア教育を行うための計画等を作成するよう指導する。 ・教職員のキャリア教育に関する正しい理解を深めるため研修会等を実施する。また、キャリアパスポート^{※2}の見直しを行うとともに、各校での教育活動全体を通じたキャリア教育の推進を支援する。 			

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※キャリア教育推進委員会：義務教育9年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、小中学校のキャリア教育を推進するNPO法人、学校、市教育委員会事務局の代表により構成された委員会

※キャリアパスポート：児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できる学習成果物を綴じたもの。

基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

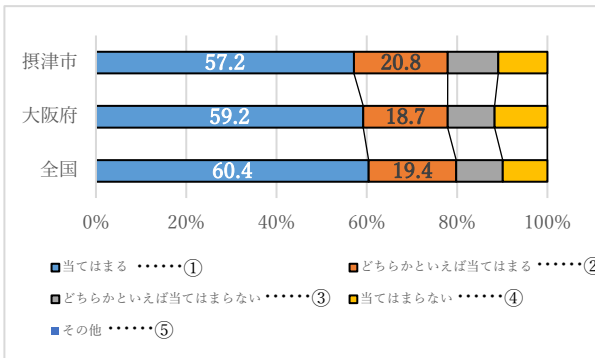
[グラフ 1]

令和 4 年度 全国学力・学習状況調査質問紙調査における児童生徒質問紙の結果

「将来の夢や目標を持っていますか」

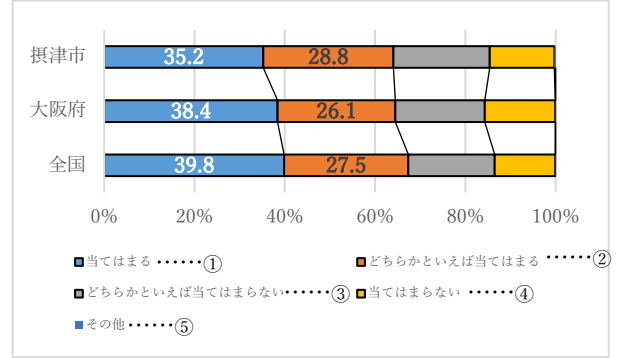
小学校

	①	②	③	④	⑤
摂津市	57.2	20.8	11.2	10.9	0.0
大阪府	59.2	18.7	10.4	11.7	0.0
全国	60.4	19.4	10.3	9.9	0.0

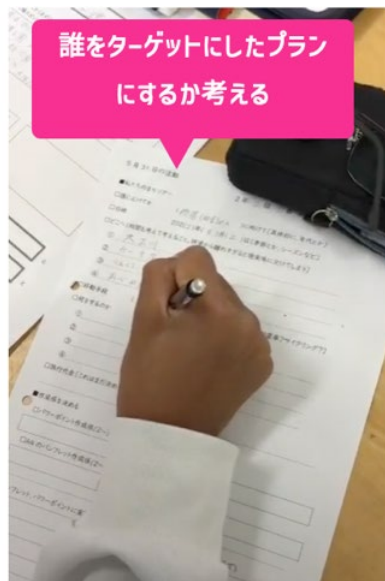


中学校

	①	②	③	④	⑤
摂津市	35.2	28.8	21.3	14.3	0.3
大阪府	38.4	26.1	19.8	15.6	0.1
全国	39.8	27.5	19.1	13.4	0.1



各企業のテーマや取組の様子



基本目標 4 社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	防災教育の推進	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
避難訓練の実施回数（市内小中学校における実施回数の平均）		2.7 回	2.5 回	B
取組実績	・避難訓練や自然災害からの身の守り方を学ぶ防災教育の授業を各校で実施し、その取組を学校安全に係る訓練及び実技研修等の実施・取組状況調査において確認した。			
今後の取組	・児童生徒が災害を理解し、防災への関心を深めるため、各校における防災教育の推進を支援する。			

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ一事業	予算額（取組内容に係る予算額）	176,165 千円（176,165 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	175,149 千円（175,149 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
児童アンケート「プログラミング教育の授業は楽しい」と肯定的回答をした児童生徒の割合		100%	100%	A
取組実績	・摂津市情報活用能力体系表 ^{※1} に基づき、児童のプログラミング的思考を育むカリキュラムを作成する全小中学校に対し指導助言を行った。 ・全小学校にプログラミングロボット ^{※2} を各 10 台導入し、ICT 担当教員を対象に教材を活用したプログラミング教育に関する研修会を開催した。			
今後の取組	・児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育を実施するため、摂津市情報活用能力体系表を改訂し、効果的な教材活用について指導助言を行う。			

※1 摂津市情報活用能力体系表：①ICT スキル②プログラミング的思考③情報モラルの 3 つの観点について、発達段階別に目標を示した一覧表

※2 プログラミングロボット：PC 画面上で作成したプログラムを反映させ、実際にどのように動くのか体験するためのロボット

基本目標 5 とともに学び育つ教育

基本目標 5 とともに学び育つ教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】(小6・中3平均)	80.0%	81.2%	83.9%
2	「友達と協力するのは楽しい」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】(小6・中3平均)	92.0%	90.0%	93.6%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。成果指標2は、R3から「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。」の質問項目削除に伴い、成果指標を変更しています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑩ 支援教育の推進	障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。	・特別支援教育推進事業【重点】
⑪ 相談体制の充実	児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや就学・進学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。	・就学児指導事業 ・教育相談事業 ・進路選択支援事業
⑫ 生徒指導の充実	いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校が保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進められるよう支援します。	・生徒指導体制推進事業【重点】 ・教育相談事業 ・適応指導教室事業

基本目標5 とともに学び育つ教育

⑩支援教育の推進

事業（取組）名	特別支援教育推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	16,953千円（16,953千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	12,644千円（12,644千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
学校コンサルテーション実施校 ^{※1} で行われる巡回相談に、実施校以外で参加する学校数		2校	1校	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進専門員[★]を派遣し、小学校8校で47回、中学校3校で5回巡回相談を実施した。 ・「就学相談リーフレット」を就学前施設等に配付し、就学時の学びの場について保護者等への理解を促した。 ・摂津小学校、味生小学校、第三中学校を学校コンサルテーション実施校のモデル校として位置づけ、児童生徒一人ひとりの特性に応じた支援方法について、専門家による指導助言を12回実施した。また、モデル校にて自閉症・発達障害に関する研修や実績報告会を実施した。[写真1] ・補聴援助システムを必要とする生徒に対し、市内で4台目となる1台を追加配備した。 ・リフト付きバス利用のための費用を1校に補助した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人ひとりのニーズに応じた支援教育を推進するため、引き続き特別支援教育推進専門員による巡回相談を行い、教職員の指導力の向上を図る。 ・子どもの就学に関して、専門的な視点から保護者の悩み等に対応できるように、作業療法専門員を任用する。 ・医療的ケア児の安全と教育の機会の確保のため、小中学校看護嘱託員^{※2}の配置等に取り組む。 			

※1 学校コンサルテーション実施校：専門家の指導のもと学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

※2 小中学校看護嘱託員：日常的にたんの吸引や経管栄養等の「医療的ケア」が必要な児童生徒に対して「医療的ケア」を実施する看護師。

★の説明は68頁に記載しています。

基本目標5 とともに学び育つ教育

[写真1] 実践報告会

(報告会の様子)



(研修会の様子)



(報告会で共有された取組の事例)



子どもが見通しを持って自分で行動するためのワーキングシステム

自立活動教材の共有



[写真2] 補聴援助システム「ロジャー」

(送信機)



話し相手の声をマイクで集音し、受信機へ送信する

(受信機)



補聴器に装着することで、送信機のマイクで拾った音をクリアに聞き取ることができる。

基本目標5 とともに学び育つ教育

⑪相談体制の充実

事業（取組）名	就学児指導事業	予算額（取組内容に係る予算額）	414 千円（414 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	324 千円（324 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催		対象児童生徒全員について実施	対象児童生徒全員について実施	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係者、福祉関係者、及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、就学先の選択や学校における支援の手だてについて助言を行い、保護者の意思決定や各学校の支援学級の取組を支援した。 ・本市の特別支援教育の方針及び取組について、広報紙の掲載や就学相談会の開催等を周知した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教育支援会議を開催し、児童生徒の適切な学びの場の決定や、支援の手立てについて協議を行う。 ・就学相談説明会を開催し、保護者に本市の特別支援教育の方針及び取組について理解を促し、丁寧な就学相談を進める。 			

事業（取組）名	教育相談事業	予算額（取組内容に係る予算額）	29,317 千円（29,317 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	26,708 千円（26,708 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
保護者からの発達検査依頼に対する実施率		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターに毎日心理相談員（木曜日5名、木曜日以外4名）を配置し、児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談（今年度相談件数2451件）を実施した。 ・保護者等から依頼があった発達検査を140件実施し、その結果を家庭や学校と共有し、適切な学びの場の選択や児童生徒の特性に応じた支援につなげた。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教育センターに心理相談員を配置し、児童生徒や保護者、教員等の相談に対応し、個々の事案に応じた支援を行う。 ・適切な学びの場の選択や、学校や家庭での子どもの特性に応じた支援の充実のために、保護者の依頼に応じて発達検査を実施する。 			

基本目標5 とともに学び育つ教育

事業（取組）名	進路選択支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	107 千円（107 千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	49 千円（49 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
進路説明会における奨学金制度等の周知校数（中学校）		5 校/5 校	5 校/5 校	A
取組実績	・進路選択相談員★を1名配置し、生徒及び保護者からの相談全28件に対し、個に応じた進路選択支援を行った。			
今後の取組	・引き続き、進路選択相談員による進路選択支援を行うとともに奨学金制度のパンフレット配付等により相談窓口の周知を図る。			

★の説明は68頁に記載しています。

基本目標5 とともに学び育つ教育

⑫生徒指導の充実

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	22,406千円（22,406千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	18,019千円（18,019千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
① 暴力行為発生件数		R2比10%減（201件）	529件	C
② いじめ認知件数 ^{※1}		R2比10%増（90件）	655件	
③ 不登校児童生徒数		R2比10%減（127人）	231人	
取組実績	<p>・生徒指導体制推進チーム^{※2}を全小中学校に合計20回派遣するとともにスクールロイヤー（SL）^{※3}による法律相談を22回実施した。</p> <p>・各校の課題に応じて、教職員を対象とした生徒指導事案に対する資質及び能力向上を図る研修を実施した。</p> <p>・5中学校区にスクールソーシャルワーカー（SSW）[*]を5名配置し、教職員と連携した児童生徒及びその家庭の福祉的課題の解決に向けて支援した。また、不登校の未然防止を目的とした連絡会議を全中学校区で開催した。</p>			
今後の取組	<p>・暴力行為発生件数は小中学校ともに増加傾向が続いている。[グラフ1] 学校が暴力行為の軽重を問わずに事案を報告したことに加え、コミュニケーション力が十分に身につかず、衝動的に暴力に繋がる行動をする児童生徒が増えたことが件数増加の一因と考える。また、特定の児童生徒による繰り返し事案も増加傾向にあるため、引き続き小中学校での組織的な対応や関係機関と連携した個に応じた支援に取り組む。</p> <p>・いじめの認知件数は小中学校ともに増加傾向が続いている。[グラフ2] 教職員によるいじめの積極的認知が件数増加の一因と考える。引き続き、教職員による積極的な認知によるいじめの早期発見早期対応を行うとともに、児童生徒の信頼関係の構築や相談しやすい環境づくりに取り組み、重篤化防止を図る。</p> <p>・新規の不登校児童生徒数が前年度よりも10人増加した。[グラフ3] コロナ禍を経て、欠席することへのハードルが下がったことや、濃厚接触者として自宅待機中の生活リズムの乱れが新規不登校児童生徒の増加の一因と考えられる。</p> <p>・不登校児童生徒への支援として、児童生徒や保護者のニーズの正確な把握及び支援を行うため、専門家と連携したケース会議を促し、助言を行う。また、校内適応指導教室や市内適応指導教室（パル）の案内に加え、児童生徒の居場所や相談機関の情報を学校や家庭に提供する。</p> <p>・引き続き生徒指導体制推進チームやスクールソーシャルワーカー（SSW）を小中学校へ派遣するとともに、教職員を対象として、生徒指導事案に組織的に対応できるよう実践的な力を養うための研修会を実施する。</p>			

^{*}の説明は68頁に記載しています。

※1 いじめ認知件数の指標設定の考え方：教職員によるいじめの積極的認知が進められているかをはかるため、目標値をR2比増としている。

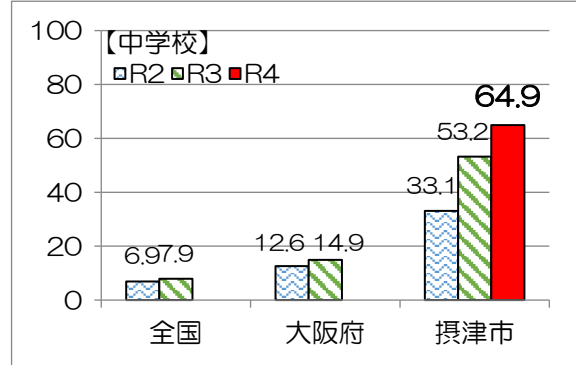
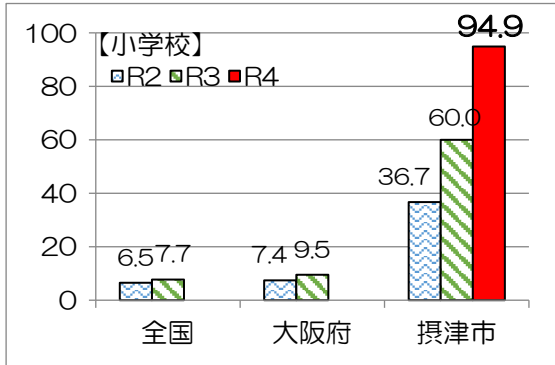
基本目標5 とともに学び育つ教育

※2 生徒指導体制推進チーム：小中学校において重篤化及び長期化する恐れのある生徒指導事案に対して、知識や技能、経験を有する者（学識経験者等）で構成した緊急支援チーム

※3 スクールロイヤー：学校で発生する様々な問題において、子どもの最善の利益を念頭に置き、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士

[グラフ1] 暴力行為発生件数の推移（千人率）

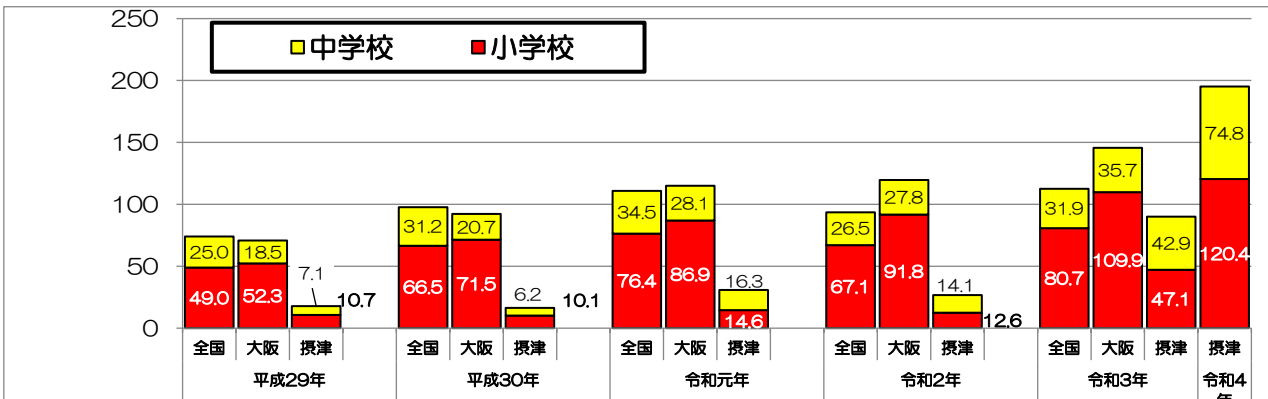
R4年度の全国と大阪の件数は現在未発表



暴力行為件数：小学校では前年度比約 1.6 倍増加、中学校では前年度比約 1.2 倍増加した。

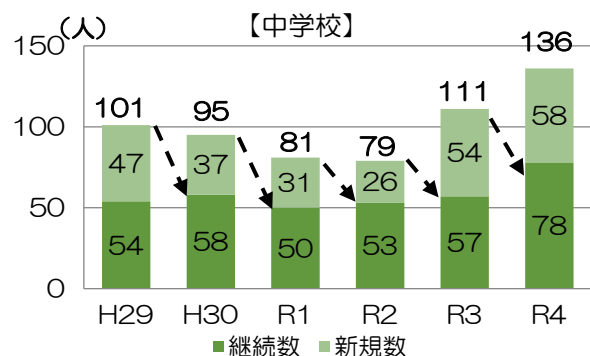
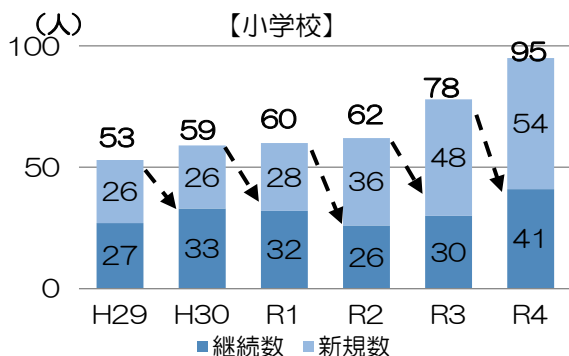
[グラフ2] いじめ認知件数の推移（千人率）

R4年度の全国と大阪の件数は現在未発表



いじめの認知件数：小学校では前年比約 2.6 倍、中学校では前年比約 1.7 倍増加した。

[グラフ3] 不登校 新規・継続者数の推移



小中学校ともに不登校者は増加している。主たる要因は「無気力・不安」が多くを占めている。

基本目標5 とともに学び育つ教育

事業（取組）名	教育相談事業	予算額（取組内容に係る予算額）	29,317千円（29,317千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	26,708千円（26,708千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
いじめ事案へのSCの関与率		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者へのカウンセリング等を実施するため、全小学校に週1日（学校規模に応じ週2日）スクールカウンセラー(SC)★を配置した。 ・生徒指導に関する校内委員会に参加し、いじめ事案や不登校事案、問題行動事案等に関して児童や保護者のアセスメントを行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の相談対応を実施するとともに、ケース会議や生徒指導に関する委員会に参加し、学校の子ども理解への支援を行う。 			

事業（取組）名	適応指導教室事業	予算額（取組内容に係る予算額）	7,165千円（7,165千円）	
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	6,563千円（6,563千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
パル通室生の学校復帰の割合		50.0%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室パル（摂津市教育センター内）において、20名の不登校の児童生徒に対してソーシャルスキルトレーニング（SST）※1等、自立支援の取組を実施した。 ・適応指導教室、小中学校、家庭にさわやかフレンド★を294回派遣し、不登校児童生徒へ支援を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒に対する自立支援拠点の充実を図るため、新たに適応指導教室アミ（鳥飼公民館内）とメイト（別府コミュニティセンター内）を開設する。 ・引き続きさわやかフレンドを学校等に派遣し、各小中学校の校内適応指導教室の活動を支援する。 			

★の説明は68頁に記載しています。

※1 SST(ソーシャルスキルトレーニング):社会で生きていくために必要となる対人関係を中心としたスキルを身に付けるための訓練のこと。

基本目標 6 学びを続ける機会づくり

基本目標 6 学びを続ける機会づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	80%	87.3%	R3 実績値 (88.3%) より 増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑬ 多様な学習機会の充実	多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土摂津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修摂津市史」を刊行します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館講座開催事業 ・ 家庭教育学級事業 ・ 生涯学習出前講座開催事業 ・ 生涯学習推進本部運営事業 ・ 文化財保護事業 ・ 摂津市史編さん事業

基本目標6 学びを続ける機会づくり

⑬多様な学習機会の充実

事業（取組）名	公民館講座開催事業	予算額（取組内容に係る予算額）	3,253千円（3,253千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	3,092千円（3,092千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
公民館講座アンケートにて、「これからも受講を継続したい」と回答した割合		80%	87.3%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際化」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸術」7分野の講座及び合同講座を市内公民館で304回実施した。（前年度比+40回） ・オンライン講座のやり方を学ぶ講座を市内公民館で実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民のニーズに対応した講座を開催するとともに、学習機会の充実のため、オンライン講座を令和5年度中に導入する。 			

事業（取組）名	家庭教育学級事業※1	予算額（取組内容に係る予算額）	566千円（566千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	325千円（325千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
家庭教育学級事業のアンケートで「今後の暮らしに活かせる」と回答した受講者の割合		75%	68.6%	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・9団体が学級を開設し、学習会を105回（前年度比+47回）開催した。 ・ホームページや広報誌の掲載、市役所窓口へのチラシ設置など、学級を開設する団体及び参加者募集を周知した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、団体の学習会を支援するとともに、団体間の交流を深める機会を提供する。 			

※1 家庭教育学級事業：幼児家庭教育学級・家庭教育学級・女性学級の3学級があり、家庭教育に関する学習の機会の提供を行っている事業。

基本目標 6 学びを続ける機会づくり

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
行政編受講者アンケートで「非常に満足」と回答した割合		75%	46.7%	C
取組実績	・「まいどおおきに出前講座」の行政編 188 回（前年度比+83 回）、市民編 13 回（前年度比+13 回）を実施し、8,099 名（前年度比+4,042 名）が参加した。			
今後の取組	・市民ニーズに応じた講座を実施する為、講座内容の見直しを行う。 ・オンライン講座やオンデマンド講座の導入を検討する。			

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	予算額（取組内容に係る予算額）	30 千円（30 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	10 千円（10 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
研修会参加者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合		75%	77.8%	A
取組実績	・社会教育関係者と行政職員を対象に「国際協力の取組と、その後のキャリアについて」をテーマとした研修会を開催し、20 名が参加した。			
今後の取組	・引き続き、社会教育関係者及び行政職員を対象とした生涯学習の推進に関する必要な知識を学ぶ研修会を開催する。			

基本目標6 学びを続ける機会づくり

事業（取組）名	文化財保護事業	予算額（取組内容に係る予算額）	3,470千円（3,470千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,074千円（2,074千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
文化財関連資料収蔵数		5,500点	5,465点	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開発に先立つ立会調査を9件実施した。（前年度比+3件） ・摂津市の歴史を後世に伝えるため「ふるさと摂津講座」を5回開催し、55人が参加した（前年度比+6人）。 ・「味舌天満宮」及び「黒丸城址」の文化財説明看板を2件修繕した。 ・明和池遺跡から出土した遺物を市民図書館、市役所及び公民館に展示した。また、教育委員会のYouTubeチャンネルにて、明和池遺跡から出土した遺物の子ども向け解説動画を配信した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化財保護のため、味舌天満宮（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付する。 ・JR千里丘西口再開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施する。 ・文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進めるとともに、文化財に関する調査や展示を行い、摂津に対する郷土愛を醸成する機会を提供する。 			

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	予算額（取組内容に係る予算額）	38,501千円（38,501千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	33,685千円（33,685千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
①『新修摂津市史』（『近世・近代編』第2巻）の刊行		刊行済	刊行済	A
②本市に関連した歴史資料保存数		42,000点	42,000点	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻を刊行した。史料の収集・調査・整理を行い、歴史資料として42,000点の保存を終えた。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・『新修摂津市史 現代・民俗編』第3巻の令和6年度中の刊行に向け、編纂を進める。 			

基本目標 7 学びを支える環境づくり

基本目標 7 学びを支える環境づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	80%	86.7%	R3 実績値 (84.3%) より 増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	75%	87.2%	R3 実績値 (85.7%) より 増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実	学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつり事業 ・生涯学習フェスティバル開催事業 ・こどもフェスティバル開催事業
⑮ 社会教育施設の活用	公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営事業【重点】 ・図書館運営事業【重点】 ・子ども読書活動推進事業

基本目標7 学びを支える環境づくり

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

事業（取組）名	公民館まつり事業	予算額（取組内容に係る予算額）	438千円（438千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	82千円（82千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
公民館まつり実行委員会アンケートで、「他クラブの活動を知ることにより、活動意欲が向上した。」と答えた割合		75%	64.3%	C
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新鳥飼公民館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小した公民館まつりを開催した。他の4館については公民館まつり実行委員会の判断により中止となったが、代替の取組として、各クラブの作品展示、活動風景のスライドショー、発表動画の放映等を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会や公民館利用団体と連携し、日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである公民館まつりの内容充実に向けて検討する。 			

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	予算額（取組内容に係る予算額）	2,326千円（2,326千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	77千円（77千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
生涯学習フェスティバル実行委員会参加団体数		20団体	15団体	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、準備期間や参加者の安全を考慮し、実行委員会の判断により「生涯学習市民のつどい」を中止とした。 ・台風接近に伴う天候不良のため、「ろうそくファンタジー」を中止した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により参加団体数は減少したが、新規参加団体を増やすとともに、実行委員会を6回開催し、コロナ禍における開催に向け企画内容を協議した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体の日頃の活動成果の発表の機会として、生涯学習フェスティバルを開催する。 			

基本目標7 学びを支える環境づくり

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	予算額（取組内容に係る予算額）	4,360千円（4,360千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	9千円（9千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
こどもフェスティバル実行委員会参加団体数		40 団体	34 団体	C
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、準備期間や参加者の安全を考慮し、実行委員会の判断により中止とした。 ・実行委員会を3回開催し、コロナ禍における開催に向け企画内容を協議した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体の活動成果や交流の機会を創造するとともに、来場するこども達の健やかな成長と親子のふれあいを深める場を提供するこどもフェスティバルを開催する。 			

基本目標 7 学びを支える環境づくり

⑮ 社会教育施設の活用

事業（取組）名	公民館運営事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	40,481 千円（5,202 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	28,577 千円（461 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
公民館利用者アンケートにて「無線 LAN を利用して、学習効率が向上した」と回答した割合		70%	95.5%	A
取組実績	・市立公民館全館において、令和 4 年 7 月からモバイル Wi-Fi ルーターの貸出を開始した。（貸出数 252 回）			
今後の取組	・インターネット環境があることで、タブレットやパソコン等で動画視聴ができるなど利用者及び団体の学習効率向上に寄与しているため、引き続きモバイル Wi-Fi ルーターの貸出を実施する。			

令和 4 年度モバイル Wi-Fi ルーター貸出状況

(R4.7 月～R5.3 月)

	保有台数	月平均貸出数	貸出数
安威川公民館	4 台	8 回	71 回
千里丘公民館	2 台	1 回	11 回
味生公民館	2 台	6 回	55 回
新鳥飼公民館	3 台	10 回	90 回
鳥飼東公民館	2 台	3 回	25 回
合計	13 台	28 回	252 回

(利用者の様子)



基本目標7 学びを支える環境づくり

事業（取組）名	図書館運営事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	143,219千円（10,797千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	139,736千円（7,406千円）	
指標		R4目標値	R4実績値	取組評価
電子図書貸し出し冊数〔表1〕		1,000冊	4,294冊	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に来訪できない方も読書ができるよう、令和4年7月に電子図書館を開設した。また、電子図書館利用促進の為、電子図書館体験イベントを3回実施した。 ・市民図書館及び鳥飼図書センターに無線LANを整備した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校に配布されているタブレット等も活用し、電子図書館サービスの利用を促進する。 			

〔表1〕 （電子図書貸し出し冊数）

月	一般書	児童書	絵本	計
4				
5				
6				
7	224	123	111	458
8	256	159	96	511
9	348	72	151	571
10	415	78	17	510
11	360	33	47	440
12	366	42	53	461
1	257	117	46	420
2	444	117	18	579
3	221	82	41	344
計	2,891	823	580	4,294

基本目標7 学びを支える環境づくり

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率		30.0%	22.9%	C
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館開設に合わせ、市内小中学校の全児童生徒に図書貸出券の登録申請書を配布した。 ・市立図書館新着資料案内を毎月全校の図書室に配布した。また学校図書館だよりを図書館内に掲示するなど、市立図書館と小学校が連携し、児童生徒の読書活動を推進した。 ・「POPで広げよう読者の輪^{※1}」、「ぬいぐるみお泊り会^{※2}」、「えほんDEカルタ^{※3}」及び「親子講座せつつで子育て^{※4}」など未就学児から小中高生の子どもに本を楽しんでもらうためのイベントを44回実施した。[写真1] 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、図書館イベントの紹介及び新刊案内を行い、市内小中学校との連携を密にする。 ・未就学児を対象とした読み聞かせや親子で参加できるイベントを実施する。 			

※1「POPで広げよう読者の輪」：自分の好きな本のPOP（図書館でいうPOPはおすすめしたい本を紹介するカード）を募集、応募作品は図書館内で展示した。

※2「ぬいぐるみお泊り会」：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館で過ごす様子を撮影し、レポートすることで、本への関心を持ってもらうことを目的としたイベント。

※3「えほんDEカルタ」：絵本の表紙をカルタの絵札に見立て、本の内容をヒントにした読み札を読んで絵札を取り合うイベント。令和4年度イベントでは参加者同士の接触を避けることと、幅広い年齢の児童が同時に楽しめるよう「坊主めぐり」の要領で実施した。

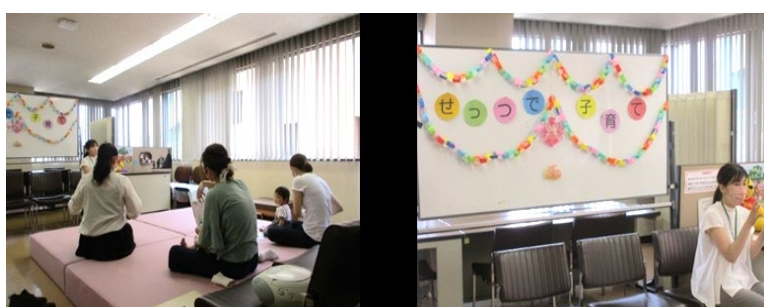
※4「親子講座せつつで子育て」：子育ての新しい情報を得るとともに参加者同士の交流を深める。また体操や本を通して「親子で触れ合う方法」を学ぶ講座。

[写真1]

（「えほんDEカルタ」の様子）



（「親子講座せつつで子育て」の様子）



基本目標 8 学びを活かす人づくり

基本目標 8 学びを活かす人づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	75%	100%	R3 実績値 (100%) より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と答えた割合	75%	82.6%	R3 実績値 (100%) より増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑩ 多様な主体による指導者の育成	講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体育成事業 ・青少年リーダー養成事業 ・せつつ生涯学習大学事業

基本目標 8 学びを活かす人づくり

⑩多様な主体による指導者の育成

事業（取組）名	青少年団体育成事業	予算額（取組内容に係る予算額）	2,790千円（2,790千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,790千円（2,790千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
子ども会の年間活動回数		100回	567回	A
取組実績	・地域で主体的に活動する団体（こども会育成連絡協議会、ガールスカウト、ボーイスカウト、淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会等）に対して、児童生徒、保護者、指導者が交流する機会を設けるなどの活動支援を行った。			
今後の取組	引き続き、地域で主体的に活動する団体（こども会育成連絡協議会、ガールスカウト、ボーイスカウト、淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会等）の活動を支援する。			

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	予算額（取組内容に係る予算額）	2,908千円（2,908千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,330千円（2,330千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて学んだことを生活で活かしたい」と答えた割合		70%	90%	A
取組実績	・小学生を対象に夏と冬のチャレンジャークラブを実施し、40名が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、冒険プログラムを中止した。			
今後の取組	・地域で活動するリーダーを養成するため、引き続き、チャレンジャークラブ夏冬のキャンプ及び冒険プログラムを実施する。			

基本目標 8 学びを活かす人づくり

事業（取組）名	せつつ生涯学習大学事業	予算額（取組内容に係る予算額）	441 千円（441 千円）		
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	429 千円（429 千円）		
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価	
生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合		75%	100%	A	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・せつつ生涯学習大学を全 12 回開催し、11 人（前年度比+6 人）が受講した。 ・せつつ生涯学習大学院を全 3 回開催し、4 人が受講した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、引き続きせつつ生涯学習大学を開催する。 				

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	72%	86.4%	R3 実績値 (87%) より増加

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑰ 教育施設の整備	老朽化が進む施設の改修や、安全安心で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校施設改修事業【重点】 ・小中学校施設運営事業【重点】 ・小中学校通学区等事業【重点】 ・図書館施設管理事業・鳥飼図書センター施設管理事業
⑱ 感染症の予防・対策	学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校保健事業 ・小中学校施設運営事業 ・学校マネジメント支援事業
⑲ 感染症の予防・対策	小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択制給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食事業【重点】 ・小学校給食事業

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

⑰教育施設の整備

事業（取組）名	小中学校施設改修事業【重点課題】	予算額（取組内容に係る予算額）	260,677千円（200,727千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	157,117千円（156,893千円）		
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価	
体育館にエアコンの設置が完了した学校数		2校/15校	2校/15校	A	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼北小学校及び第三中学校の体育館へ空調設備を導入した。[写真1] ・味舌・鳥飼小学校及び第四中学校の体育館への空調設備導入に係る実施設計を行った。 ・千里丘小学校の建替えに向け、基本設計を作成するとともに、実施設計に取り掛かった。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度を目途に全小中学校（千里丘小を除く）の体育館へのエアコン設置完了に向け、設置工事、実施設計を計画的に行う。 ・千里丘小学校の建替えに際し、仮設校舎設置時の給食や普通教室の確保などに対処する。 ・計画的な修繕を行う等、予防修繕の実施について検討する。 				

[写真1] 体育館空調設備

(空調設備)



(災害時用プロパンガス)



災害時でも起動できるよう、本市ではGHP（ガスヒートポンプ）方式を採用している。

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校施設運営事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	391,798 千円（7,500 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	401,674 千円（2,881 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
校舎全体の照明の LED 化が完了した学校数		8 校/15 校	8 校/15 校	A
取組実績	・鳥飼・鳥飼西・鳥飼北・鳥飼東小学校及び第 5 中学校の照明器具を LED 化した。[写真 1]			
今後の取組	・リース方式による LED 化の導入についての検証を行い、令和 5 年度の発注仕様の改善等を検討する。			

[写真 1]

(照明の LED 化)



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算額）	31,392 千円（7,369 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	27,298 千円（6,042 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
アンケート調査結果の分析の完了		分析の完了	分析の完了	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市立小中学校通学区域等審議会に「鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置の検討について」諮問し、計4回にわたる審議会（分科会を含む）での議論の末、令和5年2月14日に答申を受けた。[写真1] ・計2回の地域住民との意見交換会、鳥飼地域の児童・生徒・未就学児の保護者を対象としたアンケート調査・分析（回答数632件）を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・答申の内容を踏まえ、教育委員会としての考えをとりまとめる。 			

[写真1]

（摂津市立小中学校通学区域等審議会の様子）



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	図書館施設管理事業・鳥飼図書館センター施設管理事業	予算額（取組内容に係る予算額）	1,873 千円（1,873 千円） 703 千円（703 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	2,052 千円（2,052 千円） 73 千円（73 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
図書館利用者アンケートで「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合		80%	84.6%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民図書館のエレベーター及び受水槽を改修した。 ・鳥飼図書館センターの階段の塩ビシートを修繕するとともに、館内照明を順次 LED 化した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市民図書館の外壁修繕に係る実施設計を行う。 ・利用者の安心安全な施設の利用に向けて、引き続き定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施する。 			

⑱ 感染症の予防・対策

事業（取組）名	小中学校保健事業	予算額（取組内容に係る予算額）	39,381 千円（39,381 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	32,496 千円（32,496 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
学校の臨時休業数		5 回	1 回	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公立全小中学校において、「学校欠席者情報収集システム」を活用し、欠席者等の情報をリアルタイムで共有することにより、感染症情報の把握に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症予防消耗品として、手洗い用洗剤、加湿器用洗剤、ポリ手袋、アルコール消毒液等を各校へ配布した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内での感染症の拡大防止を図るため、各校の状況に応じて必要な感染症対策備品・消耗品を整備する。 			

基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校施設運営事業	予算額（取組内容に係る予算額）	391,798 千円（10,916 千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	401,674 千円（4,825 千円）		
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価	
業者によるトイレ清掃実施校数		15 校/15 校	15 校/15 校	A	
取組実績	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、業者によるトイレ清掃を週 1 回全小中学校で実施した。				
今後の取組	・業者によるトイレ清掃は令和 4 年度で廃止とするが、引き続き感染症予防及び快適なトイレ環境維持のため、学校側での定期的な清掃を実施する。				

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	160,713 千円（18,050 千円）		
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	138,939 千円（24,514 千円）		
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価	
スクールサポーター★派遣人数（小中合計）		31 人	31 人	A	
取組実績	・スクールサポーターを全小中学校へ派遣し、教職員の事務負担を軽減するとともに新型コロナウイルス感染症対策として、校内施設の消毒及びトイレ清掃の補助等を行った。				
今後の取組	・引き続きスクールサポーターを各小中学校へ派遣する。				

★の説明は 68 頁に記載しています。

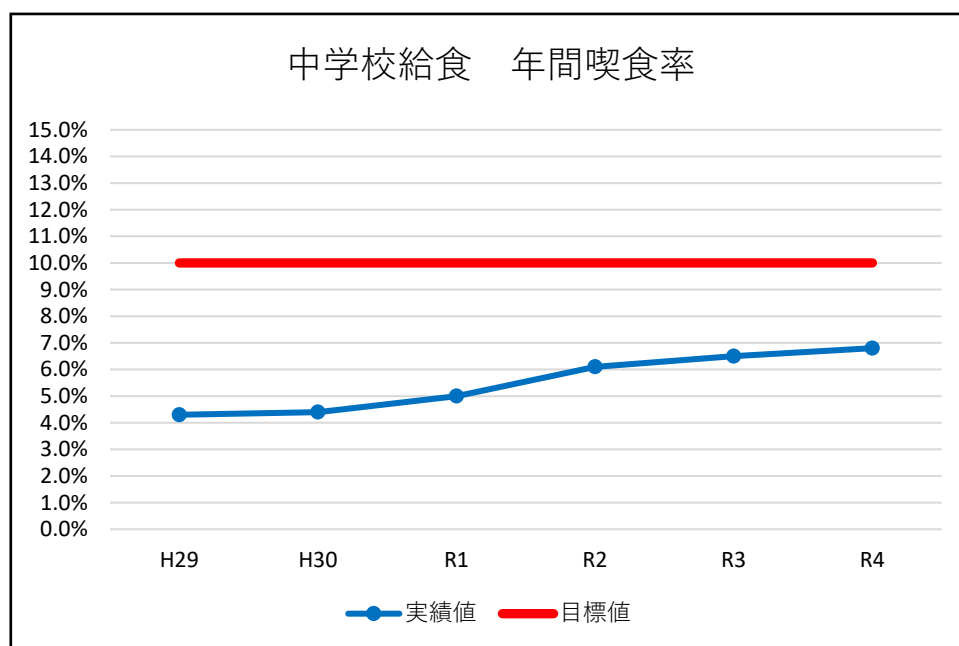
基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

⑱ 学校給食の安全衛生管理

事業（取組）名	中学校給食事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	71,072 千円（21,320 千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る予算）	69,094 千円（2,405 千円）		
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価	
中学校給食喫食率 [グラフ 1]		10%	6.8%	C	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年 4 月から「ずっと予約」サービス※を開始し、53 人の利用申込があった。 乗り入れスクール時の給食試食会、新入生保護者試食会及び人気献立 week を実施するとともに、毎週水曜日の給食に乳酸菌飲料を提供した。 全員喫食によるセンター方式での給食実施に向け、候補地の現地確認や他市情報の収集、給食関連業者への聞き取り等を実施した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> デリバリー選択制方式での給食喫食率向上に向けて、引き続き人気献立 week 等のイベントの開催、保護者向け試食会等に取り組む。 令和 8 年度からの全員喫食によるセンター方式での給食実施に向けて、収集した情報を基に実現可能性を含め検討する。 				

※「ずっと予約」サービス：従来は 1 日または 1 か月単位でしか給食の予約ができなかったが、「ずっと予約」を登録することで、卒業までの期間の給食を一括で予約できるサービス。

[グラフ 1] 年間喫食率の推移



基本目標 9 安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小学校給食事業	予算額（取組内容に係る予算額）	389,133 千円（389,133 千円）		
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	374,505 千円（374,505 千円）		
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価	
食中毒の発生件数		0 件	0 件	A	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抜き打ちのふき取り検査や衛生管理研修を実施した。 ・ 衛生管理マニュアルの順守確認のための効果検証会議を実施した。 				
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒防止のため、引き続きふき取り検査や衛生管理研修、効果検証会議等を実施する。 				

基本目標 10 社会全体で取り組む体制づくり

基本目標 10 地域全体で教育に取り組む体制づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 目標値	R4 実績値	R7 目標値
1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した割合 ^{〔◆〕} (小中学校)	88%	33.3%	100%

〔◆〕 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策	内容	事業（取組）
⑳ 学校・家庭・地域の連携強化	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校協議会の積極的運営 ・積極的な情報発信 ・地域学校連携活動支援事業
㉑ 子どもの安全見守り活動の充実	学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策事業 ・スクールガード・リーダー配置事業 ・小中学校通学区事業（再掲） ・地域子ども安全安心事業

基本目標 10 社会全体で取り組む体制づくり

⑩学校・家庭・地域の連携強化

事業（取組）名	学校協議会※ ¹ の積極的運営	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
学校協議会を複数回実施した校数		15校/15校	15校/15校	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第三中学校を除く全小中学校で学校協議会を開催し学校の自己評価結果を基に学校運営や地域連携について協議した。 ・市内全小中学校での学校運営協議会（コミュニティスクール）※²設置を見据え、モデル校として第三中学校を指定し、運営における課題を分析した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校協議会を開催し、保護者や地域住民等と連携した学校運営について協議する。 ・市内小中学校での学校運営協議会設置に向けて、モデル校の取組を周知する。 			

※¹ 学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。校長が委員を委嘱し、年間を通じて計画的に会議や行事参観等を行う。

※² 学校運営協議会（コミュニティスクール）：学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を進める法律に基づいた仕組み。主な役割として「学校運営基本方針の承認」「学校運営に関する意見提示」「教職員任用に関する意見提示」等がある。

基本目標 10 社会全体で取り組む体制づくり

事業（取組）名	積極的な情報発信	予算額（取組内容に係る予算額）	—	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	—	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
①新規動画年間アップロード数		30 本以上	80 本	B
②市教職員アンケート「本市の教育活動に関する動画（YouTube チャンネル）による発信は保護者や地域の方が、学校や市の取組みを理解することにつながっていると思いますか」の肯定的回答		77%	71.9%	
取組実績	・学校広報活動支援員が中心となって小中学校へ取材を行い、子どもたちが学んでいる様子や教職員の頑張る姿等を YouTube や『広報せつつ』にて発信した。また、取材から撮影、編集、記事作成までを専門的に行うことで、多数発信することができた。			
今後の取組	・引き続き、小中学校の取組に関する情報を YouTube にて発信し、学校、家庭、地域が連携した教育力の向上につなげる。また、『広報せつつ』にて毎月「摂津スクール最前線」というページを設け、より広く情報発信するとともに広報紙に2次元コードを載せ、YouTube と連動させる取組みを開始する。			

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	予算額（取組内容に係る予算額）	4,201 千円（4,201 千円）	
担当課	子育て支援課	決算額（取組内容に係る決算額）	3,149 千円（3,149 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
各中学校区の主行事の参加者数		2,500 人	1,088 人	C
取組実績	・各中学校区で地域教育協議会（すこやかネット）を構成し、清掃活動のほか花火鑑賞会やペットボトルロケット大会など、校区ごとに趣向を凝らした催しを参画団体の協力の下で行い、地域と学校の連携を深めた。			
今後の取組	・すこやかネットの活性化に向け、他市や他校区の活動事例を紹介するなど、情報提供に努める。			

基本目標 10 社会全体で取り組む体制づくり

㊦子どもの安全見守り活動の充実

事業（取組）名	安全対策事業	予算額（取組内容に係る予算額）	17,845 千円（17,845 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	18,296 千円（18,296 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
学校運営中の不審者侵入事案		0 件	0 件	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の受付員を平日のほか、休日に実施される運動会時にも配置した。 ・ こども安全巡視員による青色防犯パトロールカーでの防犯活動を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付員の配置及び青色防犯パトロールカーでの巡回等により、学校園への不審者侵入件数は0件であった。 ・ R4 年度に廃止した青色防犯パトロールカーに代わる安全対策の実効性を高める。 ・ 受付員体制の見直しとあわせて、通用門のオートロック化等さらなる学校園への不審者侵入対策を講じる。 			

事業（取組）名	スクールガード・リーダー※ 配置事業	予算額（取組内容に係る予算額）	546 千円（546 千円）	
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算額）	493 千円（493 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
スクールガード・リーダー巡回数		200 回以上	411 回	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校時における子どもたちの安全を確保するため、スクールガード・リーダーを6名配置した。 ・ 警察と連携した連絡会を実施し、通学路における防犯・交通安全について協議した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続きスクールガード・リーダーを配置し、子どもたちの交通安全確保のほか児童生徒の防犯意識を高めるための出前授業等の取組を行う。 ・ 学校とスクールガード・リーダー、地域の見守り隊が連携し、児童生徒の安全を確保する。 			

※スクールガード・リーダー：子どもたちの安全・安心確保のため、学校や通学路での巡回指導を行うことで、危険箇所の把握や改善、児童生徒への安全啓発の中心となる指導員。

基本目標 10 社会全体で取り組む体制づくり

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業	予算額（取組内容に係る予算額）	31,392 千円（24,023 千円）	
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算額）	27,299 千円（21,257 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率		100%	100%	A
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路等交通安全プログラムに基づき、関係機関と協議を行い、通学路の危険箇所について、飛び出し注意を促す掲示板の設置等を行った。 ・市内 25 箇所に交通専従員を配置し、登下校時の交通安全を確保するため、児童の見守り活動を行った。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係課及び関係機関と連携し、危険個所の改善に取り組む。 			

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	予算額（取組内容に係る予算額）	662 千円（662 千円）	
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算額）	420 千円（420 千円）	
指標		R4 目標値	R4 実績値	取組評価
パトロール実施者証保持者数		65 人	57 人	B
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員を対象とした青色防犯パトロール講習会を開催した。 ・こども 110 番の家の協力者数は 1,332 件（前年度比－75 件）となった。こども 110 番の啓発物品として新小学 1 年生の保護者に自転車の前かごカバーを配布した。 ・広報紙に、地域の見守り活動や見守りボランティアの募集に関する記事を掲載し啓発活動に努めた。 ・見守りボランティア 13 人（前年度比+3 人）が日常生活の中で見守り活動を実施した。 			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・こども 110 番の家の登録件数を維持するとともに、子どもの安全見守りボランティアの登録者数を増やし、地域の子どもの安全対策に取り組む。 ・子どもの見守りシステムについて、先進市の取組事例や活用方法を参考にし、検討するとともに関係部署と導入に向けた協議を行う。 			

摂津市が配置等している支援人材一覧

名称	内容	配置数	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	15人	P. 10
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	14人	P. 10
読書活動推進サポーター	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	9人	P. 11
ICT支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型PCの活用事例等や授業提案を行う	5人	P. 16
学校経営サポーター	市内小中学校の抱える課題解決に向け、校長の学校経営をサポートし、管理職を含めたOJTによる人材育成を行う。	3人	P. 19
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	1人	P. 19
学習サポーター	児童生徒の学力向上と学習習慣の定着のため、小中学校における学習活動の支援を行う。	105人	P. 19
部活動指導員	部活動顧問として専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の顧問教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	6人	P. 26
部活動補助員	当該部活動の顧問教員のサポート的役割として、生徒に対して専門的な技術指導を行う。	7人	-
外国語活動支援員	学期に2回程度各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	1人	P. 28
外国人英語指導助手（ALT）	英語を母語とする外国人を中学校区に1名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。	6人	P. 28
特別支援教育推進専門員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	1人	P. 34
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	1人	P. 37
スクールソーシャルワーカー（SSW）	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	5人	P. 38
スクールカウンセラー（SC）	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	12人	P. 40
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	22人	P. 40
スクールサポーター	教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の事務作業負担を軽減する。	31人	P. 60
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	2人	-
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	52人	-
教育支援嘱託員	適応指導教室（パル）に通う不登校の児童生徒を対象に、学習指導や社会的自立のための支援を行う。	2人	-